

# 女子美術大学ニケの会 会報

2010.9 第2号



ニケの会は「学生の父母、保護者が中心となり、大学と協力して学生生活の向上をはかり、大学の発展に寄与し、会員相互の親睦と教養を深めること」を目的としています

## CONTENTS

- 2 ニケの会 活動報告Ⅰ
- 3 ニケの会 活動報告Ⅱ
- 4 総会報告
- 5 先生直撃レポート
- 6 キャンパスレポート杉並編
- 7 ニケの会イベント予定・オススメ展覧会
- 8 インフォメーション

当会の名称である「ニケ」は、詳しくは「サモトラケのニケ」といいます。また勝利の女神とも呼ばれています。1863年にエーゲ海のサモトラケ島で発見され、現在はフランスのルーブル美術館に所蔵されて、「ミロのヴィーナス」とともに、ルーブルの至宝の双壁といわれているようです。高さは3m20cm。優美で躍動的に翼を広げている女性の彫像です。このレプリカ石膏像が約50年前から女子美術大学 杉並校舎2号館の中庭に設置されています。このため、この中庭はニケ像への親しみを込めて「ニケ広場」と呼ばれています。「ニケ」の名称は女子美のシンボルとしてデザインされ、バッジや印刷物に使われています。また女子美所有のギャラリーも「ガレリア・ニケ(現在、休館中)」と呼ばれています。

ニケの会ホームページ<http://www.pcs.co.jp/nike/index.htm>  
(女子美ホームページ→大学案内→ニケの会→ニケの会ホームページからも入れます。)

## 入学式

平成22年度大学院、芸術学部、短期大学部合同の入学式は、4月7日(水)10時30分より東京の「中野サンプラザホール」にて開催されました。

最寄りの駅である中野駅から中野サンプラザまでの一帯は、若木ですが桜の木がたくさん植えてあります。ことしは桜の開花が例年より遅れたお陰で、満開に近い桜が新入生を華やかに迎えてくれました。

会場ではマンドリン演奏の中、新入生、ご父母、保護者が着席し、校歌斉唱、学事報告と進み、佐野ぬい学長、大村智理事長からのお祝いの言葉、温かい励ましの言葉がありました。

続いて、客員教授の桃井かおり先生より、ご自分の人生観や、新入生への期待について、お馴染みの桃井先生流の語り口により、お話をいただきましたので、その一部をご紹介します。

「真っ白なキャンパスにひと筆を入れる。自分のちからを信じて一歩踏み出す。それは女子美で学んだ私の原点である。からだの中に塵のように積もった美術の感性。人間としては???ですが才能は開花しました。1+1=2のような方程式のないクリエイティブの世界ではすべての価値や基準は自分の中にしかない。実験する勇気 冒険する元気を持ってください。様々な失敗を女子美でして 自由な充実した時間を過ごしてほしい。みんなよくぞ女子美を選んだ！私も女子美で過ごした時間が私を作ったと思っている。だから、おめでとう！新しい後輩達！」

今回はニケの会より鈴木靖則会長が来賓として招待され列席しました。また、理事長の祝辞の中で、ニケの会の目的・活動について紹介していただき、式は予定通り11時40分ごろ終了しました。



## キャンパスツアー

6月6日、晴天のもと、ニケの会役員で杉並キャンパス内ニケ像の前で、オープンキャンパスツアー参加の方々をお待ちしました。校門ニケ所でのご案内係、受付、キャンパスツアーに同行する係、午後の総会の準備係など、役員それぞれ係を分担し、準備OK。とはいえ初めての事、お待ちしているのもやや不安でした。

集合時間の11時を待たずに十数人の方がお越しになられて時間通りにスタート出来ました。まず、会の名の由来となったニケ像について、校友室職員に説明を受け、その後地下の図書館へ。司書の方から蔵書の説明を受けつつ、カウンターを見ると



女子美しおりデザイン最優秀作品が!! 「ぜひどうぞ」のお勧めで素敵なしおりをいただきました。女子美祭の模擬店募集の告知を見つろびを抜けて、学食へ向かいます。今日は学生がお休みのため、学食もとても静か。

学食を抜けて、短期大学部の作品の展示教室へ向かいました。二年間の限られた時間で、最大の効果を上げたい先生方は、どうしてもハードスケジュールになってしまうと、苦笑しておられました。入学したと思ったら就活も始めなければならないのは忙しい、と。八十島キャリア支援担当部長の熱心な説明を受け、次は大学校舎へ。ここは以前付属高等学校・中学校の校舎でしたが、床はフローリング、ドアは木製になって、とてもやわらかい印象です。壁や天井から下げられたモニターには、ビジュアルデザインの学生の作品が流れていました。ヒーリングアート(心を癒し、落ち着ける絵画や建築、おもちゃなど)を見学して屋上へ。これも癒し空間と言える美しい緑の芝生。生徒達の素敵なランチスペースでしょうか? 最後にアート・デザイン表現学科を見学して約1時間のツアーは終了しました。まるで娘たちと時間を共有したよう。相模大野の広大なキャンパスもぜひ紹介していただきたいものです。



## 地方懇親会(広島)

8月2日(月)13時より広島市の平和記念公園内にある広島国際会議場にて、中国・四国地区対象のニケの会、地区懇談会を開催いたしました。当日は2組3名の父母、保護者の方がご参加くださいました。最初に役員紹介があり、続いて大学側より学生生活、就職状況、就職支援などについての説明がありました。



続いて行われた、茶話会ではそれぞれの父母、保護者の方から、地方にいて、1人暮らしをしている子供の状況が分からなく心配であること、成績や就職のことがやはり心配であることなどのお話がありました。用意したビデオレターをご覧になり、しっかり課題に取り組む子どもの姿を見て、皆さん少し安心されたようでした。

途中、同じフロアで開催されている進学相談会に出席されていた、芸術学部長の小倉先生、同じくアート・デザイン表現学科学科長の内山先生、美術学科学科長の馬場先生が来てくださり、新しくなった学科やカリキュラムの説明、授業の紹介をしていただきました。今回は、初めての開催という事もあり、参加募集の方法や、会の運営について反省すべき点は多々ありましたが、参加していただいた方々の暖かい励ましのお声もあり、今後も続けていけたらと思います。また、高松から参加の田中さんには、とりあえず連絡員ということで、この地区の懇親会が活発になるよう、お願いいたしました。どうぞよろしく願いいたします。来年はぜひ、大勢の方に参加していただけるようにしたいと思います。

## 地方懇親会(福岡)

8月7日(土)10時30分より福岡市博多区にあるアクロス福岡にて九州地区対象の懇談会を開催し、10組12名の父母、保護者が出席くださいました。また、同窓会福岡支部旧役員2名も応援に駆けつけてくださり、卒業後の同窓会活動についてお話いただきました。



写真やビデオ映像を交えて、ニケの会発足の経緯、会の活動、学生生活、就職状況等の報告、続く茶話会では、共通の関心事、心配事を中心に懇談いたしました。

途中、他フロアでの進学説明会に出席されるデザイン・工芸学科の山本先生、アート・デザイン表現学科の山野先生、美術学科の大森先生が来室し、学生の近況報告や各学科の授業の紹介と共に質問に答えてくださいました。特に関心の高い就職について先生からは「個人の要望に合わせて指導しており、学生達は就職したいという意欲をもって早い時期から積極的に行動してもらいたい」とのお話をいただきました。主催者としては、この懇談会が意義あるものになるか心配でしたが、先生方を交えてお話ができたことに喜んでいただけた様子でしたので、会の活動の一つとして今後も続けていけたらと良いと感じました。会の終わりに、役員との連絡役になってくださる方を募ったところ、下関から出席の兒嶋さんが快く引き受けてくださいました。どうぞよろしく願いします。

お伝えしたいことが沢山ありながら進行のイメージが掴めきれず一同舞い上がって不手際だらけの会となりましたが、「参加して良かった」の感想を頂きスタッフ一同大きな励みになりました。沢山の反省点は次回に繋げていきたいと思います。九州地区の皆さん、来年もこのような機会がありましたら、ぜひお会いしましょう！

### <兒嶋節子さんの感想>

今年、初めて開催された「ニケの会」九州地区懇談会に参加させていただきました。大学の先生、「ニケの会」役員、担当職員の方々のお話を聞くことができ、大変有意義な時間となりました。特に、最大の関心事の就職状況についてお話を伺えたのはとても良かったと思います。また、女子美大学のOGの方、同じ父母としての皆様のお話も大変参考になりました。今後もこのような機会にはぜひ参加して、会員の皆様とともに、学生の皆さんを応援できればと思っています。



## 第2回総会 報告

### 女子美術大学 ニケの会 第2回総会

平成22年6月6日(日)に女子美術大学杉並校舎6号館第一会議室において女子美術大学ニケの会の第2回総会が開催されました。昨年の10月に発足したニケの会は、現在の会員数が326名(総会時点)になります。総会には44名の出席があり委任状と合せて259名となり総会は成立いたしました。総会では鈴木靖則前会長が再任され、さらに本部役員・会計監査の選出、平成22年度活動計画、平成22年度予算(案)等全ての議案が承認されました。また、大学を代表して山本法人本部長より、総会開催についての祝辞とニケの会の活動についての感謝が述べられました。引き続き茶話会が開催され、ご父母、保護者間の親睦を深めました。



#### 平成22年度 活動計画

本会則第3条の「目的」、第4条の「事業」に沿って、以下の活動を推進する。

- 活動の企画および運営のために次の会を開催する。
  - 定時総会 平成22年6月6日(日) 杉並校舎
  - 本部役員会 随時
- 会員の教養を高めると共に、親睦をはかるための事業を実施する。
  - 杉並キャンパス見学ツアー 6月6日(日)
  - 地方懇親会(広島・福岡) 8月
  - 女子美祭において会員募集活動および模擬店出店 10月23日(土)～10月24日(日)
  - ホームページによる展覧会情報、キャンパスレポートなどの情報発信
  - 講演会 年1～2回
  - バスツアー 11月
  - 学生活動への助成
- 会報の発行 9月に第2号を刊行

#### 平成22年度 予算

平成22年4月1日～平成23年3月31日  
女子美術大学ニケの会

##### 取入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	0	
会費	1,956,000	6,000×326人
雑収入	0	預金利息
合計	1,956,000	

##### 支出の部

科目	金額	備考
役員会・委員会	200,000	会議の際の雑誌および交通費
会報印刷費	344,000	会報 年1回発行 2,000部 (印刷90+折・封入14+送料68)
総会費	55,000	議案書・往復はがき@100×350=35,000 茶話会 お茶・ケーキ代 20,000
地方懇親会	300,000	広島・福岡
女子美祭費	300,000	会員募集活動、模擬店出店等
ホームページ維持費	210,000	業者との管理契約
講演会費	120,000	講師謝礼等
消耗品費	25,000	
雑費	10,000	振込手数料
バスツアー費	100,000	
学生助成費	100,000	
予備費	192,000	
合計	1,956,000	

#### 平成22年度 本部役員

会長	鈴木 康則	デザイン学科 3年
副会長	中村 隆志	メディアアート学科 4年
	吉田 千代	絵画学科洋画専攻 3年
会計	湯山るり子	立体アート学科 3年
	木下ルミ子	絵画学科日本画専攻 2年
庶務	角田 恵子	メディアアート学科 2年
	藤沢まゆみ	デザイン学科 2年
	坂入紀美子	芸術学科 2年
	吉村 久好	ファッション造形学科 3年
会計監査	須田 由美	工芸学科 3年
	安高 俊彦	絵画学科日本画専攻 2年

##### 事務担当

鈴木 昌美	法人副本部長・学生部事務部長
川上 勇	総務課長・校友室長
白柳 弘美	総務課・校友室
谷相 芳美	総務課・校友室

### 総会、茶話会に出席して

舟橋 廣子(デザイン工芸学科 プロダクトデザイン専攻 一年 母)

6月6日、ニケの会総会に出席して、茶話会にも参加いたしました。初お目見えの方ばかりなのに、コーヒーを一杯飲み終える頃には皆さんと隣家同士の様に打ち解け、楽しく、アットホームな会でした。それは役員の皆様、会長、大学職員の方々の細かい気配りのおかげだったと思います。

役員の方からの業務報告の後、大学側との質疑応答に入りましたが、会長が口火を切り皆が質問し易い雰囲気を作ってくださったので、沢山の質問が飛び交い盛り上がりました。

先生が短大生について「入学した年の10月から就職活動で大変。」と労わっていらしたのが印象的でした。

その後、役員の方々が銘々に配ってくださった淹れたてのコーヒーと、お菓子もいただきながらテーブルごとの歓談。

それぞれ異なる学部、学年の父母、保護者でしたが、情報交換が飛び交いました。ご父母、保護者のお子様への愛も痛感した一日でした。役員の方々が皆様お疲れ様。心温まる一日をありがとうございました。



## 先生直撃レポート 第2回 橋本弘安先生(日本画家)

7月某日、相模原校舎に橋本先生の研究室を訪ねました。橋本先生はお母様、伯母様が女子美のご出身。また師である橋本明治画伯を伯父様に持たれ、そのようなご環境から自然と日本画の道を歩まれたそうです。

### —早速ですが、日本画の魅力とは何でしょうか？

「色がきれい」ということだと思います。私は、その魅力がどこにあるのかを知りたい、日本画の色の世界を整理したいという思いから今に至っています。また、日本画がどういう位置にあるべきかを考えてみると、いろんな魅力の広がりがあります。

### —色の研究はどの様な思いから始められたのですか？

色を調べると日本画の色は（顔料の粒子の）荒さが違うと色が違うとか色々あって、そこに深く興味を持ち調べていくのですが、規則性があるわけではなく、それを揃えるにはどうするかと考えていくうちに（色の研究に）引っ張られてきたというところが多分にありますね。

### —絵の具作りから拘られるのは何故でしょうか？

近代以降は絵の具も化学合成で作られ、現在は化学で作った色の世界で暮らしているんです。天然物から作る絵の具で近代以前の色の空間を追求してみたいという思いが大きいと思います。学生たちにも（顔料の粒子）1/1000mミリという見えない世界に踏み込んでもらいたい。そうすると、これ（顔料の元となる石など）を掘った人がいるんだろうなというところまで思いが深まり、面白い世界が広がります。最近では、そんなことに思いを巡らせることに意味があるかなと思っています。

### —日本画を学ぶ場ではどこでもこのような研究をしているのですか？

美大でこんなことをしているのは世界的にもここだけではないかと思っています。

### —学生達の将来にどのような歩みを期待したらよいでしょうか。

どんな道を選んでも2、3年で結果は出ない。

其々の経験は先で生きてくるから、長いスパンで考えて、やりたいこと、生き甲斐が確保されればいいことなんじゃないかな。いつでも、自分の立ち位置を知っていることじゃないかなと思います。

2時間に渡るインタビューの中、隕石を削って色出したものなど貴重なものを沢山見せて頂きました。絵画制作に辿り着く以前の研究に橋本先生の表現なされる世界観があるのだといたく

感動した1日でした。橋本先生有難うございました。



(教育用岩絵具と石から作った色の標本)



### ■ 橋本弘安(橋本 信)

#### 経歴

1953年 大阪市に生まれる  
1977年 東京芸術大学美術学部日本画専攻卒業  
1986年 女子美術大学専任講師  
1988年 鹿島美術財団個人研究助成を受ける  
1990年 この秋頃から自作天然顔料で制作する  
1994年 日展審査員  
1995年 外務省在外公館絵画制作  
1996年 ホームページ日本画材料資料集開設  
1997年 女子美術大学教授  
1999年 新宿小田急・京都高島屋にて個展  
日展審査員  
2000年 香川県石の民俗資料館で橋本弘安展  
2004年 ブータン王立美術工芸学校校長の岩絵具の研修に協力  
2005年 自然の石・鉱物の色を気軽に楽しめる方法を考案し「石の絵具 キット」を指導・監修  
2006年 「絵画材料の小宇宙」出版  
2007年 新居浜市郷土美術館で市制施行70周年記念橋本明治・橋本弘安展開催  
2008年 教育用岩絵具「エコ岩絵具21」を尾藤一泉先生と開発  
現在 日展評議員・粉体工学会会員

## キャンパスレポート ～杉並通学生のとある一日(杉並編)～

新宿駅から丸の内線に乗って6分、新中野駅で下車。ここから徒歩10数分。

大学への通学時間としては、最高恵まれている。今年からアート・デザイン表現学科になり「メディア表現領域」、「ヒーリング表現領域」、「ファッションテキスタイル表現領域」、「アートプロデュース表現領域」の、4クラス戻ってきたのは、とてもラッキー。

相模大野キャンパスは大きいから、工房も広くてのびのびみただけだけど、杉並はやっぱり、都心だから時間の有効活用できるよね。

リフォームしたばかりの校舎は、床や扉の木の色がいいかんじ。

ブルーの窓の光も、ちょっと海の中気分。

教室は狭めだけど、友達と近いのがいいかも。

23区内にある女子美ってメリット大よね。

ただ大学の周りには、住宅地だから何もない(に、等しい)これって昭和55年卒の母の時代からあまり変わっていないらしい。

母は自分の校舎が無くなった、って嘆いていたけれど。今は新築して付属の新校舎がおめみえしている。



正門にまわるとしいたけがお出迎え。オレンジの首輪のダークグレーのグラデーション。しいたけは人懐っこい、女子美のアイドル猫。

この子が学校にいるからみんな癒される！大学に猫がいるっていいよね。でも、なんでしいたけ??名付け親誰かな？

研究室に課題提出する前に、学食寄って行こうかな？

今なら空いているはず。

あっ、気まぐれパスタある！ラッキー。

定食は美味しい時と(?)があるし。

大学の人数増えたんだから、メニュー一新!!みたいなこと期待してるけど。

あ、友達きたきた。

課題提出したら図書館のDVD鑑賞室寄ってこー。あそこ、好きだなあ。

ついでにレポート用の本も借りてこなくちゃ。夏休み前提出だし。

補講ありかな?7月末らしいよー。なんて話しながらついでに帰りに新宿のカラ館決定。

その前に世界堂寄って、画材足してこよう。

今日は提出しちゃったら時間余るし、みんなが来る前に紀伊国屋でも寄ろうかな。

——こうして、7月某日の彼女の一日は過ぎていくのだった。



## ニケの会イベント予定

### 10月23/24日 女子美祭

秋の訪れと共に今年も女子美祭のシーズンがやって参りました。昨年ニケの会では杉並・相模原の両校舎にて、模擬店を出店いたしました。お祭り好きの鈴木会長自ら腕をふるった豪快な焼きそばや、フランクフルト、オトナの味わいのこだわりコーヒー。お陰様で大好評でした。今年では会員の皆様にもご協力をお願いしたいと思います。お嬢様の作品を鑑賞がてら女子美祭の雰囲気と一緒に楽しみませんか。またニケの会では学生支援の一環として、学生の作品をポストカードにして、展示販売を企画しました。詳しくはニケの会のホームページをご覧ください。(ニケの会会員のご家庭限定です)



お手伝いくださる方を募集中!

### 11月13日 バスツアー

「**葦崎大村美術館&ぶどう狩り**  
平成22年11月13日(土)

**参加者募集!**

ニケの会では、会員の親睦を深めるために、今回初めてバスツアーを企画しました。女子美術大学は今年110周年を迎え、記念イベントとして、山梨県葦崎市にある大村美術館にて、「八咫鏡の女流作家展」が開催されます。(10月17日~翌2月27日まで) そこで会員の皆さんと、美術館で女子美の卒業生及び在職中の女性作家の作品を鑑賞し、その後ぶどう狩り、バーベキューで楽しく昼食を取り、足湯ひろばに立ち寄ってリフレッシュする予定です。お問合せ、お申込みはニケの会HPか下記まで。

バスツアー担当 なにあい 谷相  
TEL 042-778-6611  
FAX 042-778-6637



## オススメ展覧会

国立西洋美術館 2010.10.26~2011.1.16  
**アルブレヒト・デューラー版画・素描展**

北方ルネッサンスを代表する、ドイツ美術史上もっとも偉大な画家の版画、素描展。絵画の原点を理解する上で、貴重な展覧会です。

同時期(2010.10.23~2.5)  
同じく上野の東京藝術大学大学美術館にて黙示録—デューラー/ルドンを開催いたします。合わせてご覧いただくことをお勧めいたします。



大阪 国立国際美術館 2010.11.27~2011.2.20  
**ウフィツィ美術館 自画像展**

福岡市美術館 2010.10.23~11.10  
**シャガール ロシア・アヴァンギャルドとの出会い**  
パンピドー・センター所蔵作品展。

京都国立博物館 2010.10.9~12.5  
**ナポリ・宮廷と美—カポディモンテ美術館展**

**JAM** 女子美アートミュージアム 相模原キャンパス内

2010.9.17~10.24 創立110周年記念展  
**女子美パリ賞+α「パリで暮らす、つくる」**  
2000年から現在までにパリ賞を受賞した10名の卒業生アーティストを紹介。

10.30~11.1 **造形さがみ 風っこ展**  
相模原市教育委員会主催小中学生作品展。

11.19~12.5 **何香凝 芸術名作展**  
明治末期、中国より来日し女子美術学校で日本画を学んだ何香凝の画業を紹介。

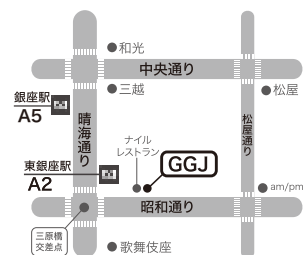
※110周年を参照してください。

## 銀座 gallery 女子美

女子美術大学×沖縄県立芸術大学 交流展  
2010~vol.3

前期: 2010.9.20~10.2  
後期: 2010.10.4~10.16

女子美術大学立体アート専攻と沖縄県立芸術大学彫刻専攻による交流展。2008年より毎年開催。今季が第3回目。



展覧会

●佐野ぬい展 —110の夜(nuit)を超えて—

佐野ぬい学長の巡回展を全国の高島屋で行います。詩的な抽象表現と、「ぬいブルー」といわれる独特の青を主調とした鮮烈な色彩で構成された、佐野先生の世界を存分にお楽しみください。

【会場】高島屋 東京店・横浜店・大阪店・京都店  
ジェイアール名古屋店

【会期】東京 2010年10月6日(水)～10月12日(火)  
横浜 2010年10月20日(水)～10月26日(火)  
大阪 2010年11月10日(水)～11月16日(火)  
京都 2010年11月24日(水)～11月30日(火)  
名古屋 2010年12月22日(水)～12月31日(金)



●創立110周年記念展

【会場】上野の森美術館

【会期】2010年12月23日(木)～12月27日(月)

記念イベント

●「三岸節子没後10年」記念シンポジウム

【会場】相模原キャンパス 224番教室

【日時】2010年10月24日(日)15時～16時30分

●同窓会企画マール・セルベット氏講演会

「ショパン生誕200年:音楽・ムゼオ・建築デザイン」

【会場】東京大学構内 福武ホール

【日時】2010年12月11日(土)14時から

●110周年記念事業シンポジウム

『現代アジアの女性作家』

【会場】相模原キャンパス 1312教室

【日時】2010年11月4日(木)13時20分～16時50分

●短期大学部学生によるテキスタイルパフォーマンス『合縁奇縁』

【会場】恵比寿「イーストギャラリー-B1ホール」

(渋谷区東3-24-7 ライビル)

【日時】2010年10月28日(木)18時開場 18時30分開演



●記念ワインプロジェクト

学生70名による白ワインぶどう約1トンの収穫作業を行い、飯綱町のワイナリーにおいて、ワインの仕込みを行いました。そのうち110本が「女子美110周年記念ワイン」になります。

●出張！なんでも鑑定団 in 女子美

【会場】女子美術大学 杉並キャンパス 新体育館

【日時】2010年12月19日(日)開場12:00 開演13:00



ニケの会 役員一覧

会 長	鈴木 靖則
副 会 長	中村 隆志
	吉田 千代
会 計	湯山るり子
	木下ルミ子
庶 務	角田 恵子
	藤沢まゆみ
	坂入紀美子
	吉村 久好
会 計 監 査	須田 由美
	安高 俊彦

発 行	女子美術大学 ニケの会 〒166-8538 東京都杉並区和田1-49-8
企画・編集	ニケの会 広報担当
制作・印刷	株式会社パワープランナー
発行日	2010年9月30日

ニケの会入会のご案内

「女子美術大学 ニケの会」は、女子美術大学の大学院・学部・短期大学部の在学生のご父母(又はそれに代わる方)と大学が一致協力して、学生生活の向上を図り、また大学の発展に寄与し、併せて会員相互の親睦と教養を深めることを目的としています。

平成21年度後期は発足年度として、会員の皆様と共に会の地盤固めに努め、平成22年度より、会報発行、地区別父母の集い、課外活動への補助等々の事業を実施して参ります。在校生ご父母、保護者の皆様には、ぜひ入会をご検討いただきたくお願い申し上げます。詳細は下記へお問い合わせください。

《女子美術大学ニケの会事務局》

学校法人女子美術大学 総務部校友室

〒166-8538 東京都杉並区和田1-49-8

電 話 03-5340-4501 FAX 03-5340-4545

メール nikenokai@venus.joshibi.jp